

 **おのまち**

議会だより

169号

令和4年
2月14日発行



定例会12月会議

4 常任委員会審査結果

8 町政を問う!4人が一般質問

13 議会活動トピックス

14 議会活動日誌

木造阿弥陀如来及び両脇侍像(小野赤沼・無量寺)

定例会12月会議

12月2日～8日



▲タブレットを試行活用しての本会議

令和3年小野町議会定例会12月会議が7日間の日程で開かれました。

会議では、令和3年度各会計補正予算、条例の制定や一部改正など13件の町長提出議案と、議員提出議案1件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決しました。

また、4名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたきました。

令和3年度 各会計補正予算

令和3年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査しました。

各会計の補正予算額については、右表のとおりです。

会計区分		補正額	補正後予算額
一般会計		▲5742万円	58億6077万円
特別会計	国民健康保険	2万円	12億1923万円
	介護保険	390万円	15億2314万円
	浄化槽整備推進事業	15万円	7949万円
水道事業	収益的収入	▲213万円	1億6539万円
	収益的支出	▲213万円	1億6043万円

※1万円未満切り捨て

条例制定・一部改正・廃止

条例制定1議案、条例の一部改正2議案、条例の廃止3議案を可決しました。制定等の概要は次のとおりです。

◆福島県特定事業活動振興計画に基づく小野町税の特例に関する条例を制定

復興庁設置法等の一部を改正する法律により、福島復興再生特別措置法に農林水産業や観光業等への風評被害に対応する課税の特例規定が追加されたことから、新たに固定資産税の課税免除の措置を講ずるために必要な事項を定めるものです。



◆小野町国民健康保険条例の一部を改正

健康保険法施行令の改正により、出産育児一時金の見直しが行われたことから、国民健康保険の出産育児一時金を40万4千円から40万8千円に引き上げるものであり、令和4年1月1日から施行するものです。

◆小野町国民健康保険税条例の一部を改正

国民健康保険法の改正により、国民健康保険に加入している未就学児に係る国民健康保険税の均等割額を5割軽減、軽減世帯にあつては、さらに軽減後の金額の5割を軽減するものであり、関連する条項について所要の改正を行うものです。公布の日から施行し、令和4年度の国民健康保険税から適用するものです。

◆小野町保育所条例を廃止する条例

令和4年4月の公私連携幼保連携型認定こども園の開園に伴い、小野町立中央さくら保育園、小野町立夏井おおすぎ保育園及び小野町立飯豊ひまわり保育園を今年度末で閉園にすることから、本条例を廃止するものです。

◆小野町児童館設置条例を廃止する条例

令和4年4月の公私連携幼保連携型認定こども園の開園に伴い、小野町立浮金つつじ児童館を今年度末で閉園にすることから、本条例を廃止するものです。

◆小野町立幼稚園条例を廃止する条例

令和4年4月の公私連携幼保連携型認定こども園の開園に伴い、小野町立小野わかば幼稚園を今年度末で閉園にすることから、本条例を廃止するものです。



契約締結

◆林業専用道整備事業袖山田尻線第2回新設工事請負変更契約の締結について

繰越事業として現在施工中の林業専用道整備事業袖山田尻線の工事内容に変更が生じ、予定価格が5千万円以上であることから、議会の議決を経て契約を締結するものです。

契約先：有会社 高柴建設

変更後の契約額：1億5千598万7千7百円

人事案件

◆固定資産評価審査委員会の委員の選任に同意

小野町固定資産評価審査委員会の委員として、横田貞子氏（新任・南田原井）を選任することに同意したものです。

議員提出議案

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて、提案したものです。

議案提出者：渡邊 直忠 議員

ここが聞きたい 質疑

常任委員会審査

予算決算常任委員会

企画政策課

問

小野小町ふるさと応援寄附金が減額となった原因は。

答 寄附は返礼品のうちリカちゃん人形が大きく影響している。H31

は、件数は減少したが、これまでより寄附額を1万6千円と高かったため、金額が伸びた。R2は寄附額を1万円に戻したため減額となったものである。

問

今後の寄附の見通しは。

答 11月からふるさと納税専用サイトを増やし申込みの充実を図っていたので、今年は伸びるものと見込んでいる。

健康福祉課

問

震災から10年以上が経過し、バジジ式線量計利用の事業はいつまで実施するのか。

答 放射能での健康への影響を心配される方がいるうちは継続していきたい。国の支援があるうちは継続していく予定である。

子育て支援課

問

子育て世帯への臨時特別給付金事業について、申請の必要な方が申請を忘れた場合の確認作業は行うのか。

答 申請していない人への勧奨により、申請漏れのないように努める。

産業振興課

問

事業継続緊急支援給付金が110件の見込みに対して51件の実績、要因は何か。

答 令和元年と2年の税申告の内容を比較し、売り上げが20パーセント以上減少している事業所に対して給付するものであり、対象事業所が少なかったのが現状である。

教育課

問

スプリングシヨートスクールの委託先はどこになるのか。

答 学習塾経営事業者等を想定している。



総務文教常任委員会

税務課

問

福島県特定事業活動振興計画に基づく小野町税の特例に関する条例に該当する町内施設はあるのか、また周知方法は。

答 県内でも3箇所であり、町内での該当施設は聞いていない。広報紙等にて周知予定である。

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
 ・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	渡邊直忠	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志
第1回会議 11月	町長	令和3年度小野町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11月第2回会議 町長	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定例会12月会議 町長		職員給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和3年度小野町一般会計(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和3年度各特別会計等補正予算 5件	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		福島県特定事業活動振興計画に基づく小野町税の特例に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町保育所条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町児童館設置条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町立幼稚園条例を廃止する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		林業専用道整備事業袖山田尻線第2回新設工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員		小野町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議員派遣について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回会議 12月	議員	福島県立小野高等学校の存続を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回会議 1月	町長	令和3年度小野町一般会計補正予算(第7号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※紙面の関係上、予算決算関係議案と人事議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

11月第1回会議開催

11月22日に令和3年小野町議会11月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆補正予算

令和3年度小野町一般会計予算において、農林水産業費の水稲農家支援特別給付金事業の費用2540万円を増額するものです。

予算決算常任委員会

産業振興課

問

水稲農家支援特別給付金単価を8000円ではなく、単価を上げるべきではないか。

答 今回の10アール当たり8000円の給付金

は、町単費であり、減収補填ではなく、農家継続の支援、応援金であるためご理解いただきたい。



11月第2回会議開催

11月29日に令和3年小野町議会11月第2回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆町長等の給与及び旅費に関する条例、議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例、職員の給与に関する条例の一部を改正

福島県人事委員会の勧告等に伴い、特別職や議会議員、職員の期末手当の支給割合を改正するものです。



▲予算決算常任委員会の様子

12月第1回会議開催

12月16日に令和3年小野町議会12月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

議員提出議案

◆意見書の提出

福島県立小野高等学校の存続について小野町議会独自の意見書を福島県知事等に提出することについて提案したものです。

○福島県立小野高等学校の存続を求める意見書

議案提出者：宗像 芳男 議員

意見書提出先：福島県知事、福島県教育長

提案理由

福島県立小野高等学校は、昭和十七年に田村農蚕学校として開校し、令和四年に創立八十周年を迎える。

開校以来、多くの卒業生を送り出しており、その卒業生は、小野町は元より、町内外で活躍し、大きく貢献いただいている。

これまでに「ふくしまの未来」へつなぐ体験応援事業により、震災の風化防止や福島

の元気を発信する活動を継続的に実施してきたほか、町の六次化・発酵のまちづくり推進事業への参画、地元産の農畜産物を活用した商品開発研究、沖縄県立八重山農林高等学校との交流など、町や地域の方々と連携・協働して事業に取り組み、中でも、家庭科クラブにおいては、高校生最大の料理コンテスト「ご当地！絶品うまいもん甲子園」に出場し、3度の準優勝に輝くなど、本大会を通じて小野町そして福島県の農畜産物の魅力を幅広くPRしている。

人口減少が加速する中、社会変化に的確に対応できる生き抜く力を育み、福島県の将来を担う人材育成と地域活性化を図るためにも、県中地区内での高校を統合せず分散配置を行い、夢をカタチに導く県中地区唯一の総合学科を維持することが、過疎・中山間地域における学習機会の確保と教育環境の向上、さらには地方創生の推進につながるものと考ええる。

については、地域の子供たちの教育環境を守り、持続可能な地域社会を創り上げ、過疎・中山間地域における地域の特色を生かした人材育成と地域の活性化を図るために、福島県立小野高等学校を存続することを強く要望するため、地方自治法第99条の規定により、福島県知事ほか、関係機関の長に意見書を提出する。

1月第1回会議開催

1月11日に令和4年小野町議会1月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

◆補正予算

令和3年度小野町一般会計予算において、新型コロナウイルス感染症により影響を受けた世帯への支援策として、子育て世帯への臨時特別給付金給付事業、家計急変世帯等への経済対策世帯給付金等事業、原油高騰対応支援事業による原油高騰対応生活困窮世帯給付金の計上として1億6千691万6千円を増額するものです。

予算決算常任委員会

健康福祉課

問

原油高騰対応支援事業において、介護老人施設や障がい者施設、民間の保育施設にも燃料費の負担が増えているのではないか。それらの施設への影響は調査したのか。

答 今回は県の生活困窮世帯向けに設けられた事業であり、社会福祉施設に対する支援は対象になっていないため調査はしていない。

子育て支援課

問

要申請者である公務員と、高校生などの養育世帯への10万円一括給付の予算措置は、これからするか。当初、10万円の一括給付の予定はなかったのではないか。

答 12月に先行分5万円、1月の補正により追加分5万円を計上しているもの。児童手当受給者には、先に5万円を支給し、今回の補正により追加にて5万円を支給する。公務員と、高校生などの養育世帯については、今回の予算成立により10万円を一括支給するものである。



▲予算決算常任委員会の様子

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(2月下旬掲載予定)

渡邊 直忠 議員 7ページ

- 1 コロナ禍・出口における町民・町内事業者支援について
 - ① 経済的困窮者及び町民・町内事業者支援について
 - ② 税金滞納者対応について
 - ③ 電子地域通貨導入について
- 2 一般廃棄物最終処分場設置町の責任について
 - ① 小野町一般廃棄物最終処分場公害防止等条例の改正について
 - ② 小野町最終処分場2社との契約内容について
 - ③ 小野町最終処分場2社との変更後の搬入予定量に伴う契約について
 - ④ 小野町一般廃棄物最終処分環境とまちづくり協力金条例について
- 3 小野町障がい者計画について
 - ◆ ① 小野町自立支援協議会について
- 4 不登校・ひきこもりについて
 - ◆ ① 不登校生徒数の現況について
 - ② 子ども・若者育成支援推進法について
 - ③ 義務教育学校について

会田 明生 議員 8ページ

- 1 産業行政について
 - ① 林道の管理について
 - ② 小野町鳥獣被害防止計画に基づく取り組みについて
- 2 ふるさと納税について
 - ◆ ① 用途の公表について
- 3 協働のまちづくりについて
 - ① 住民税を活用した町民予算枠の導入について
- 4 町長の政治姿勢について
 - ◆ ① 令和4年度予算編成方針について

會田 百合子 議員 9ページ

- 1 太陽光発電について
 - ◆ ① 太陽光発電の現状について
 - ◆ ② 自然破壊や災害誘発の対策について
- 2 スクールバス運行事業について
 - ① スクールバスを利用する児童・生徒について

緑川 久子 議員 10ページ

- 1 中央さくら保育園の廃園後の活用について
 - ◆ ① 総合的な子育て支援としての拠点施設について
- 2 スクールバス利用対象
(小学生3km以上、中学生4km以上)について
 - ◆ ① 安全確保と距離設定の変更など柔軟な対応について





渡邊 直忠 議員

問

小野町自立支援協議会の 住民委員を増員しては

答

自立支援協議会の圏域化を検討

問 小野町障がい者計画にある自立支援協議会委員は11、12人、住民等委員は3人で少ないのではないのでしょうか。住民委員からの意見・提案・質問等は必要であると思いません。住民委員を増員し障がい児を持つ親にも委嘱すべきと思われませんが町長の考えを伺います。

町長 町の自立支援協議会は、平成23年に設置し、福祉、教育、就労、警察関係のほか、地域及び障がい者等の福祉に関連する業種の方々に構成して

問

小中学校における 不登校の現状と対応策は

答

教育相談・支援体制に ついてのサポートを実施

おります。多様化する障がい者ニーズに対応するには困難な場面も出てきており、現在、田村市及び三春町とともに1市2町での圏域化した自立支援協議会を構成することを検討しております。具体的には、各市町において抽出された課題整理検討を行うほか、必要に応じ、専門部会やワーキンググループで議論することを想定しています。

予算が少額ではないかのご指摘については、圏域化の議論を進める中で構成員の費用弁償等を整理していきます。

員会では、小中学校へのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、不登校児童生徒の新たな出現の予防と解消に向けた「小野町ハートフルプラン」や「早寝・早起き・朝ごはん」運動による自己肯定感の醸成、基本的生活習慣の確立及び保健室や相談室を利用した学習体制の整備などによりサポートしております。

教育長 不登校の原因は本当に様々であり、この状況の改善にむけて、担任任せだけではなく、チームで対応する、チーム学校という体制でそれぞれ組織的な取り組みをしています。

問 小野町での不登校生徒数は複数人いると聞き、不登校の現状と実施した対応策はありますか。いじめ防止対策推進法における重大事態になった事案はありましたか。あった場合の対応策をお聞かせ願います。

教育長 小野町の小・中学校における不登校児童・生徒数は、令和2年度末の今年3月には小学校が3名、中学校が5名を数え、今年度の10月末現在では小学校1名、中学校10名の報告を受けております。教育委

なお、いじめ防止対策推進法における重大事態に該当する事案は、発生しておりません。

再質問 長期欠席がある意味では重大事態に入ると思いますが、教育長の見解をお願いいたします。

また、教室に入れない子どもたちには学習の機会をきちんと保障しようということで、ICTを活用して教室でない別室でも、教室にいる子どもたちと同じ授業が受けられるようなシステムを作って対応するなど、今後ともいろいろなかたちで対応して参ります。





ふるさと納税使途を公表しては



効果的な情報発信のため公表していきたい



会田 明生 議員

問 小野小町ふるさと応援寄附金は、使いみちを指定していただいており、寄附の状況は、使いみち・金額が公表されておりませんが、具体的な充当事業まで公表してはどうでしょうか。

町長 ふるさと納税の寄附金の取り扱いにつきましては、基金への積立を行い、翌年度寄附者の目的に沿った各種事業で活用しております。寄附をいただいた方の思いを尊重するとともに、寄附金をどのような事業に活用し町づくりを行っているか等町の



どのような思いで令和4年度の予算編成に臨むのか



「未来へおのまち総合計画」の重点目標を基本とした四つの柱の実現に向け取り組みたい

問 令和4年度の予算は、村上町長として最初の予算となります。新年度に向けてどのような思いで予算編成に臨むのか、町長の考えを伺います。



町長

人口減少や少子高齢化が進む中、町の最上位計画である「未来へおのまち総合計画」における重点事

事業への関心を持っていただくきっかけとなり、町の応援者を増やしていく機会になるとも考えられます。効果的な情報発信のため、他自治体の例も参考にしながら公表して参ります。

業を基本に、四つの柱として考えております。「人づくり・子育て支援」「健康づくりの推進」「産業の更なる振興・発展」として「支えあえる地域づくり」の実現に取り組んで参ります。

また、各分野の組織や団体、町民のみならず、おのまちからのご意見を踏まえ、既存事業の必要性や手法の見直しを図り、国・県支出金の活用を基本に新たな事業の実施に必要な財源の確保に努めます。魅力ある持続可能なまちづくり、協働のまちづくり推進のため、地域活性化等のための活動を展開してい

る組織や団体、町民お一人おひとりが町づくりに関心を抱き、主体的に取り組んでいく環境づくりと、小野町に住んでよかったと実感し、故郷として誇りと愛着を持てるまちの実現に向けた予算編成をして参ります。

町長 予算編成につきましても限られた財源の中でどういった施策を打ち出していくかというのが、非常に大事な部分でないかと感じております。そう

いった中でやはりまちづくり予算がかからないもの、すぐできるものは即進めて参りたいと思います。例えばウォーキングコースの認定。コースの認定後は歩行者優先にする等は可能ではないかと思えます。

民間の活用。民間の方々と行政がしっかりとコラボレーションをして将来的にいろいろな施策を実施していく必要があるのではと考えています。

個別のそれぞれの政策を打ち出した時には、ぜひ議会の皆さん方にもご提案をさせていただき、議論をお願いしたいと思います。





會田 百合子 議員

問

太陽光発電の現状について

答

家庭用太陽光発電設備の普及とメガソーラー発電事業の拡大による上昇

問 本町の件数や発電量の状況と推移、特に大規模太陽光発電の現状はどうなっているか伺います。

町長 平成22年度より町内の太陽光発電設備の導入に対する補助を行っており、令和2年度までに154件の補助を実施しております。

町内では令和元年11月から小野山神地内、令和2年2月から南田原井地内、同じく8月からは塩庭地内において、発電量1メガワットを超えるメガソーラー発電所の稼働を開始しております。これらにより、町内での太陽光発電による月の発電量は、令和3年4月の実績で1074万キロワットアワーとなり、年間に換算すると一般家庭の1年間の電気使用量で、約3万世帯分の電力を発電していることとなります。

町内での家庭用太陽光発電設備の普及拡大及びメガソーラー発電事業の拡大により、小野町における太陽光発電による発電量は、近年飛躍的に上昇しております。

問

太陽光発電施設の設置に伴う自然破壊や災害誘発への対策は

答

関係機関と連携し、自然破壊や災害発生を未然に防ぐ措置を講じている

問 特に大規模な太陽光発電を設置する場合、自然破壊や災害誘発等への対策はあるのか伺います。

や県などの監督機関と連携しながら計画の安全性や周辺環境への影響などを審査したうえで、必要な指導・監督のもと自然破壊や災害の発生を未然に防ぐ措置を講じています。しかし、十分な予防策を講じていても、予期できない気象条件による土砂の流出などが起こります。そのような事例

町長 町内での太陽光発電施設の設置については、小野町開発事業指導要綱に則し、都市計画区域では3千平米以上、都市計画区域外では一万平米以上の開発事業について、一定の規制を設けております。具体的には、開発事業者に対しては土地の取得から造成、設備設置など計画内容がわかる資料の提出を求め、国



太陽光発電

を確認した場合は、直接事業者と連絡を取り、必要な補修や再発予防策を講じるよう指導し、対応していただいております。今後も事業者と継続的に連絡を取りながら、災害予防の徹底を図るよう指導して参ります。

問

総合的な子育て支援としての 拠点施設について



緑川 久子 議員

答

新たな施設整備と総合的な 子育て支援拠点整備等の具体的な検討を

問

「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の一体化など、仕事と子育てがしやすい環境の整備が求められています。中央さくら保育園を「子育て支援センター」として、長期にわたる総合的な子育てを支援する拠点として活用してはどうか。町長の考えを伺います。

町長

子育て支援に関する一丁目は多様化しており、すべての子どもとその家庭及び妊娠産婦等を対象に、総合的な子育て支援の

仕組みづくりやその拠点となる場所の設置は重要であると考えております。
中央さくら保育園の廃園に伴い、放課後児童クラブや子ども教室、総合的な

子育て支援の拠点施設として活用してはどうかのご提案ですが、隣接する小野わかば幼稚園とともに建物の老朽化が進み、現施設の活用には改修や耐震の補強など、多額の費用を要することが見込まれます。また、町道の拡幅工事により施設の解体も検討する必要があります。

今後、暫定的な場所で運営し



児童クラブ 文化の館職員による読み聞かせ



子ども教室 学校での活動を終えスクールバスへ

問

スクールバスの 利用条件の緩和と 通学時の安全確保について

答

状況調査を行い 関係機関と連携し 安全確保を図る

問

スクールバスの利用対象は、小学生が3km以上、中学生が4km以上となっている。しかし、小学低学年など徒歩通学が困難と思われる児童・生徒には、安全確保の観点からも距離設定の変更など、利用条件を緩和した柔軟な対応を望みますが、町長の考えを伺います。

教育長

各地における登下校の事件や事故、社会情勢の変化から生じる不安や負担が増加している状況

にある一方、徒歩時間の減少に伴う体力の低下や肥満問題を解消するための運動量の確保などの指摘もあるため、今後状況を調査のうえ検討して参ります。

なお、通学路の安全確保の対応につきましては関係機関と「通学路合同安全点検」を実施した結果を踏まえ、関係機関と連携し必要な整備と対策により安全確保を図って参ります。

議会活動トピックス

「認定こども園」視察(1月11日)

令和4年度4月より新たに開園される認定こども園(理事長 琴田啓子氏)の視察を行いました。



施設の一部は床暖房が設置され、寒い日でも温かく過ごせます。



認定こども園の外観



施設内を案内され職員より説明を受ける



1階廊下



園児の洗面台

議会活動日誌

11月

- 1日 市町村対抗駅伝大会小野町チーム激励金交付式
- 11日 月例全員協議会／総務文教・厚生産業各常任委員会
- 15日 全国過疎地域自立促進連盟定期総会（東京都）
- 17日 県教育長訪問（小野高要望・町長・教育長・議長）（福島市）
- 21日 第33回ふくしま駅伝競走大会報告会
- 22日 議会運営委員会／全員協議会／11月第1回会議
- 23日 小野町功労者表彰式
- 24日 例月出納検査
- 24～26日 令和3年度定期監査
- 25日 田村広域行政組合議会臨時会（議運・全協）（三春町）
- 26日 町村議会議長会全国大会（東京都）
- 29日 議会運営委員会／全員協議会／11月第2回会議
定例会12月会議議会運営委員会／定例会12月会議全員協議会
郡山地方広域消防組合議会（郡山市）

12月

- 1日 第22回新型コロナ対策本部会議
- 2～8日 定例会12月会議
- 8日 月例全員協議会／田村広域行政組合議会報告
- 10日 小野高校課題研究発表会
- 16日 全員協議会（田村広域行政組合解散事務経過について）
議会運営委員会／全員協議会／12月第1回会議
- 22日 町村議会正副議長・事務局長研修会（郡山市）
- 24日 例月出納検査／定期監査報告書提出
- 27日 公立小野町地方総合病院企業団議会

1月

- 4日 小野町消防出初式／小野町新年交礼会
- 8日 令和4年交通安全祈願祭
- 9日 小野町成人式
- 11日 月例全員協議会／認定こども園視察
議会運営委員会／全員協議会／1月第1回会議
- 14日 第23回新型コロナ対策本部会議
- 25日 例月出納検査
- 31日 第24回新型コロナ対策本部会議

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。



議会の映像を インターネットで配信します

開かれた議会を目指し、より議会を身近に感じていただくため、令和3年定例会2月会議より議会の本会議（一般質問）について、YouTube（ユーチューブ）による配信を行っています。

新型コロナウイルス感染症の拡大などもあり、傍聴に来られない方もご自宅などで議会の様子をご覧になれます。

ぜひ、ご覧ください。

視聴の仕方

小野町議会ホームページから▶

<https://www.town.ono.fukushima.jp/soshiki/10/>



- ①小野町議会のホームページにアクセスし、「議会映像配信（ユーチューブ）について」を選択します。
- ②「ライブ配信はこちら」をクリックすると、YouTube（ユーチューブ）へ移動します。

議会組織に関すること
2020年2月18日更新 議員紹介
2020年2月18日更新 議会のしくみ
2020年2月18日更新 小野町議会の組織
2012年3月23日更新 請願・陳情
議会映像配信
2021年1月20日更新 議会映像配信（ユーチューブ）について
議長交際費に関すること
2021年1月15日更新 議長交際費の公表について
議会だよりに関すること

更新日は変更となりますのでご了承ください。

配信の内容

- ①配信する内容は、議会本会議の一般質問のみとなります。
- ②配信はライブ配信のみとなります。
- ③ライブ配信された動画は一定期間視聴可能となりますが、会議録の掲載に合わせて視聴できなくなります。



※議会ホームページ内の注意（免責）事項を確認のうえ、視聴してください。

議会からの **お知らせ**

定例会3月会議は

3月3日(木)から開会します。

一般質問は3月4日(金)の予定です。

- 新型コロナウイルス感染症対策として議場の傍聴席の間隔を広げるため、座席数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。
 - 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
 - 一般質問の様子をYouTubeにより動画配信をいたします。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

令和4年
2月14日発行
169号

発行者／福島県小野町議会
編集／議会広報編集委員会
〒963-3492
福島県田村郡小野町大字小野新町字館廻2
☎0247-72-6930

スマホ用アプリ

マチイロで配信しています。

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。ぜひご覧ください。

QRコードからアクセスしてください



マチイロ
マチを好きになるアプリ

表紙の写真

昭和50年5月30日に福島県指定重要文化財に指定され、中尊(本尊)が阿弥陀如来像、中尊の左脇侍(向かって右)が観音菩薩、中尊の右脇侍(向かって左)が勢至菩薩という三尊像の形式であり、小野町内に唯一残されている古代の仏教資料として大変貴重なものです。近年は像が劣化しており三菱財団の助成を受けて見事に修復され昨年12月約2年ぶりに寺へ戻ってきました。現在は、小野赤沼行政区の財産となつています。

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	竹川 里志
委員	宗像 芳男
委員	会田 明生
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	中野 孝一
委員	會田 百合子

・あしがき

昨年も新型コロナウイルス感染拡大防止対策に翻弄された一年であり、新しい年を迎えてひと月が過ぎましたが、再びオミクロンという新たな変異株が全国的に猛威を振るい感染者が急増しております。私たちの日常は、2年間の長きにわたり、日々の行動等が大きく制限された生活環境が続いております。今年こそコロナ対応の新しい生活様式を実践しながら、以前の日常を取り戻すことを願うものです。今年一年の皆さんのご健勝とご活躍を念じますとともに、議会活動により一層のご支援とご協力をお願いいたします。立春も過ぎ暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続きまので、ご自愛ください。

小野町議会広報編集委員長
田村 弘文



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。

小野町議会 検索 小野町議会のホームページもご覧ください